

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: リチウムグリス
会社名: 平和テクニカ株式会社
住所: 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-48-4
担当部門: ファインカット営業部
電話番号: 046-251-3755
FAX 番号: 046-255-5840
Mail アドレス: info@heiwa-tec.co.jp
緊急連絡先: 同上
受付日時: 月曜日～金曜日 9:00～17:00
作成年月日: 2022年5月24日
改訂年月日: 2023年8月8日
用途: 潤滑用グリス

2. 危険有害性の要約

GHS分類: ※下記に記載のないものは「区分に該当しない」または「分類できない」
物理学的危険性: —
健康に対する有害性: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2
環境に対する有害性: 水生環境有害性 短期(急性) 区分3
水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

GHS ラベル要素
シンボル



注意喚起語: 警告
危険有害性情報: 強い眼刺激
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き:
安全対策: すべての安全注意(SDS等)を読み理解するまで取扱わないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護マスク等の保護具を適切に着用すること。
応急処置: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用
して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断を受けること。
保管: なし
廃棄: 内容物や容器を廃棄する際には、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄
物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物
 化学名又は一般名： 潤滑用グリース
 成分

組成物質名	CAS 登録番号	濃度又は濃度範囲
潤滑剤基油(鉱物油)	非開示	80 ~ 90%
リチウム石けん	非開示	5 ~ 15%
添加剤	非開示	≤ 5%

労働安全衛生法(第57条 表示・通知対象物):168: 鉱油 80~90%
 262: 2,6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール 1.0%未満
 化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法): 非該当
 毒物劇物取締法: 非該当

4. 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、必要に応じて医師の診断/手当を受けること。

皮膚に付着した場合: 触れた部位を多量の水でよく洗い流す。必要に応じて汚染された衣服や靴を脱ぎ、医師の診断/手当を受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け最低15分洗浄した後、医師の診断/手当を受ける。

飲み込んだ場合: 無理に吐かせず、必要に応じて医師の診断/手当を受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。

最も重要な徴候及び症状: 現在のところ有用な情報なし
 応急処置をする者の保護: 現在のところ有用な情報なし
 医師に対する特別な注意事項: 現在のところ有用な情報なし

5. 火災時の措置

消火剤: 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。

使ってはならない消火剤: 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

火災時の特定危険有害性: 現在のところ有用な情報なし

特定の消化方法: 火元の燃焼源を断つ。
 周囲の設備等に散水して冷却する。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消化を行う者の保護: 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
 保護具及び緊急時処置: 作業者は適切な保護具(【8.ばく露防止及び保護処置】の項を参照)を着用すること。

環境に対する注意事項: 漏出物が下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起さないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 少量の場合は、ウエス等に吸着させ回収し、その後完全にウエス等で拭き取る。

二次災害の防止策:	<p>大量の場合は、危険地域の周辺には、ロープを張り、人の立ち入りを禁止し、漏洩物を出来るだけ空容器に回収する。</p> <p>漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。</p> <p>付近の熱、炎、スパークなど着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。</p>
-----------	---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術対策:	<p>火花、炎、高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。</p> <p>皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は保護具を着用する。</p> <p>ミストが発生する場合は、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。</p> <p>容器は必ず密閉すること。</p>
安全取扱注意事項:	<p>取扱いは換気の良い場所で行う。屋外では出来るだけ風上から作業すること。水分、夾雑物の混入に注意する。酸化剤との接触を避ける。</p>
保管	
安全な保管条件:	<p>直射日光を避け、換気の良い場所に保管し、使用後は密閉する。40℃以上ある場所には保管しないこと。熱、スパーク、火炎を避ける。保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。酸化剤との接触ならびに、同一場所での保管を避ける。</p>
安全な容器包装材料:	<p>容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。容器は加工、穴あけ、または切断しない。</p>

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:	<p>ミスト及び蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。</p>
管理濃度:	<p>現在のところ有用な情報なし</p>
許容濃度:	<p>日本産業衛生学会</p> <p>3mg/m³ (Mineral oil Mist)</p> <p>ACGIH</p> <p>TLV-TWA 5mg/m³ (Mineral oil Mist)</p> <p>TLV-STEL 10mg/m³ (Mineral oil Mist)</p>
保護具:	
呼吸器用の保護具:	<p>必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器を着用する。</p>
手の保護具:	<p>長期にわたる、あるいは繰り返し接触する場合は耐溶剤性(不浸透性)の手袋を着用する。</p>
眼の保護具:	<p>飛散する場合には保護眼鏡等を着用する。</p>
皮膚及び身体の保護具:	<p>長期にわたる、あるいは繰り返し接触する場合は保護服等を着用する。</p>
適切な衛生対策:	<p>濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。</p>

9. 物理的及び化学的性質

形状:	半個体
色:	淡褐色
臭い:	僅かな臭気
融点・凝固点:	データなし
沸騰範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発範囲:	データなし
引火点:	190℃以上
発火点:	データなし

分解温度:	データなし
pH:	該当しない
動粘性率:	データなし
溶解度:	水に不溶
オクタノール／水分配係数:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
粒子特性:	データなし
その他データ	
比重:	約 0.89(25℃)

10.安定性及び反応性

反応性:	強酸化剤と反応することがある。
科学的安定性:	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性:	現在のところ有用な情報なし
避けるべき素材や条件:	高温、炎及び着火源
混触危険物質:	酸化剤
危険有害な分解生成物:	燃焼の際は煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される可能性がある。

11.有害性情報

急性毒性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。 経口 ラット LD50 >5000mg/kg (鉱物油)
皮膚侵食性/刺激性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分2と判定した。
呼吸器感作性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。
生殖細胞変異原性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。
発がん性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。
生殖毒性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。
誤えん有害性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分に該当しない、又は分類できない。

12.環境影響情報

生態毒性:	
急性毒性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分3と判定した。
慢性毒性:	原料の危険有害性区分と含有率より、区分3と判定した。
残留性・分解性:	現在のところ有用な情報なし
生体蓄積性:	現在のところ有用な情報なし
土壌中の移動性:	現在のところ有用な情報なし
オゾン層への有害性:	現在のところ有用な情報なし

13.廃棄上の注意

廃棄方法:	内容物や容器を廃棄する際には、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処
-------	-------------------------------------

理業者に業務委託すること。排出事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)に従い都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託して処理する。 投棄禁止。埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

汚染容器及び包装: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14.輸送上の注意

国連勧告 国連分類: なし

国内規制: 陸上輸送 消防法危険物には該当しないが、火気に注意をする。
海上輸送 船舶安全法 非危険物
航空輸送 航空法 非危険物

特別な安全上の対策: 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさせないように運搬する。

15.適用法令

労働安全衛生法 名称を表示、又は通知すべき危険物および有害物(法第 57 条、法第 57 条の 2):

鉱油
2,6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法):

非該当

毒物及び劇物取締法: 非該当

水質汚濁防止法: 油分排出規制
海洋汚染防止法: 油分排出規制
下水道法: 鉱油類排出規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:
産業廃棄物規則

16.その他の情報

参考資料

経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス
独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) GHS 関連情報、SDS 関連情報
安全衛生情報センター GHS のシンボルと名称 危険有害性、区分、シンボル、注意喚起語、危険有害性情報早見表
JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
原料 SDS

免責文

この情報は法令の改正及び新しい知見に基づき改正されることがあります。記載情報は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害等に関してはいかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施のご配慮をお願い致します。